

高さ 2m 38cm 3度目の奇跡！

世界最大の「花」ショクダイオオコンニャク咲きました

係員の誘導にしたがってご見学くださいますようにご協力をお願いいたします。



8月14日(日) 20:00

ショクダイオオコンニャク (Amorphophallus titanum)

インドネシア・スマトラ島の限られた場所に生える、サトイモ科の絶滅危惧植物です。巨大な花の集まり(花序)は、高さ3m、直径1m以上にもなり、世界で最も大きい花序をつける植物です。ギネスブックで認定された世界最大の記録は高さ3.1mです。

2016年(平成28年)8月14日(日)開花

- ◎同じ株が1年おきに3度も咲くのは日本初
- ◎日本での開花は14例目(当園では3回目)
- ◎花序のサイズ
高さ2m 38cm、直径101cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ
重量65kg、直径63cm、厚さ32cm

プロフィール

1992年 小石川植物園で播種
2006年 当園に受け入れ
(葉の生育と休眠を数回繰り返す)

2012年5月25日 第1回開花

- ◎花序のサイズ: 高さ2m 6cm、直径93cm
- ◎塊茎(イモ)のサイズ: 重量34kg、直径51cm、厚さ32cm

〈開花後、葉が生育開始〉

2013年11月26日 葉が倒れ休眠に入る
2014年4月初旬 生育開始
2014年4月23日 植え替え

2014年7月3日 第2回開花

- ◎花序のサイズ: 高さ2m 72cm、直径108cm、
- ◎塊茎(イモ)のサイズ: 重量70kg、直径66cm、厚さ42cm

〈開花後、葉が生育開始〉

2016年3月中旬 休眠に入る
2016年7月6日 植え替え



案内マップ

熱帯雨林温室 1Fへ

順路にそって
お進みください

❗ 印の部分から入ってご見学することはできません。

熱帯雨林温室の入口は2階です。車イス、ベビーカーご利用の方、階段の昇降が困難な方は★印1階入口より入場できます。

コンニャク新聞



開花
2016年
(平成28年)
8月14日(日)

ショクダイオオコンニャク Q&A

Q: コンニャクは作れますか？

A: 作れます。食用のコンニャクイモ1kgで板コンニャク16~18枚ができるので、65kgの今回のイモからは1040~1170枚できる計算になります。

Q: 花が終わったらどうなりますか？

A: 花は倒れます。しばらくするとイモから葉芽が出て、高さ4mくらいの葉が広がります。

Q: 世界最大の花はラフレシアではないのですか？

A: ラフレシアは花そのものが最大で、ショクダイオオコンニャクは花序(たくさんの花の集まり)が最大です。たくさんの花が集まって咲くアジサイと同じような小さな花の集まりです。

Q: どうして5年で3回も咲いたのですか？

A: 毎日ほめて育てました。
スターの素質があるイモなのかもしれません。
本当のところはわかりません。



予告

きのこ展

~変身!変形菌!もうひとつのきのこの世界~

2016
10/1(土) > 10/10(月-祝)

開園時間: 9時-16時30分(入園は16時まで)
会期中休園なし